

食品用器具及び容器包装の規制の在り方に関する技術検討会

開催要領

○趣旨

我が国の食品用器具及び容器包装の規制の在り方については、食品用器具及び容器包装の安全性を高めるための具体的な仕組みを検討することを目的として、学識経験者、消費者、地方自治体、業界関係者等の幅広い構成員からなる「食品用器具及び容器包装の規制に関する検討会」を平成28年8月から開催し、平成29年6月16日に取りまとめが公表された。

本取りまとめにおいては、ポジティブリスト制度の導入等について提言されているが、制度を導入するに当たっての技術的事項について更なる検討が必要とされている。そのため、技術的事項の検討を目的として、「食品用器具及び容器包装の規制の在り方に関する技術検討会」を開催する。

○検討事項

- (1) ポジティブリスト制度の対象範囲及び具体的な仕組み
- (2) 具体的なリスク管理の方法（ポジティブリストの作成方法、添加量・溶出量規制等）
- (3) その他

氏名	職名
◎ 大前 和幸	慶應義塾大学名誉教授
◎ 小山 裕士	千葉県健康福祉部衛生指導課長
◎ 早川 敏幸	日本生活協同組合連合会品質保証本部安全政策推進室
○ 広瀬 明彦	国立医薬品食品衛生研究所安全性生物試験研究センター安全性予測評価部長
○ 六鹿 元雄	国立医薬品食品衛生研究所食品添加物部第三室長
○ 森田 満樹	一般社団法人FOOD COMMUNICATION COMPASS代表

◎：座長、○：座長代理